

2025年度 海外フィールドスクール 講義概要 (シラバス)



法政大学

科目一覧

〔発行日：2025/5/1〕 最新版のシラバスは、法政大学Webシラバス (<https://syllabus.hosei.ac.jp/>) で確認してください。

凡例 その他属性

〈他〉：他学部公開科目

〈優〉：成績優秀者の他学部科目履修制度対象科目

〈S〉：サティフィケートプログラム_SDGs

〈ダ〉：サティフィケートプログラム_ダイバーシティ

〈カ〉：サティフィケートプログラム_カーボンニュートラル

〈グ〉：グローバル・オープン科目

〈実〉：実務経験のある教員による授業科目

〈ア〉：サティフィケートプログラム_アーバンデザイン

〈未〉：サティフィケートプログラム_未来教室

【A9840】 海外フィールドスクール [稲垣 立男] オータムセッション/Autumn Session 1

CMF200LI (その他の複合領域 / Complex systems(Others) 200)

海外フィールドスクール

稲垣 立男

開講時期：オータムセッション/Autumn Session | 単位数：2
単位

曜日・時限：集中・その他 | キャンパス：市ヶ谷

備考（履修条件等）：

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

海外フィールドスクールは、例年東アジアや東南アジアで実施されていますが、緊急事態宣言下の2021年度、2022年度にはオンラインで実施、2024年は日本国内で受講するオンライン（オンデマンド）講義とフィリピン・マニラでのフィールドワークを組み合わせて開講しました。今年度の授業構成は、2024年度と同じく、日本でのオンライン（オンデマンド）講義とフィリピン・マニラでのフィールドワークを組み合わせたものになります。

この授業では、フィリピンの文化と芸術をテーマとして生活や文化的背景の異なる人々との交流を通じて、多角的な見方、考え方による双方向の文化理解やコミュニケーションについて体験的に学びます。今年度のフィールドワークのテーマは昨年に続き「インターベンション・アート」です。マニラの街や文化施設を巡りながら、都市に介入するアートワークの方法を探ります。東南アジア、フィリピンの環境問題や社会問題と美術や演劇、映画などの文化活動を関連させるワークショップを中心とする講座となっています。東南アジアの文化に関心のある皆様はぜひご参加ください。

【到達目標】

フィリピン在住の研究者、ジャーナリスト、NPO 運営者、アートキュレーター、アーティストらによる講義やワークショップ、アートシーンをテーマとしたマニラでのフィールドワークを通じて地域の文化や人々の暮らし、演劇や現代アートなどの芸術表現や文化政策への理解を深めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

大学のディプロマポリシーのうち、「法政DP-IV」「法政DP-VI」に関連。

大学のディプロマポリシー詳細はこちら。

https://www.hosei.ac.jp/hosei/daigakugaiyo/rinen/hoshin/gakui_juyo/

【授業の進め方と方法】

地域に特有の環境問題や社会的問題をテーマによるオンデマンド授業、マニラではグループワークでの調査や仮想のアート・プロジェクトを実施、ディスカッションを経て、様々な発表形式による作品発表を行います。

1. 講義を通じて、フィリピンの社会的課題と、美術史や美術理論の基本的な知識を確認します。
2. 受講者同士のディスカッションやフィールドワークを通じてさらに問題を探ります。
3. マニラ滞在中には、それぞれが設定したテーマで作品制作（プレゼンテーション）に取り組みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり /Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり /Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
事前学習	事前学習	授業の概要
	稲垣立男	各講義やワークショップの詳細、注意事項
		フィリピンの文化や芸術に関連した内容の講義や事前調査について

講義1	フィリピンの文化と社会1 澤田公伸（まにら新聞記者）	フィリピンの社会と政治の現在について
講義2	フィリピンの文化と社会2 鈴木勉（国際交流基金マニラ日本文化センター所長）	フィリピンの社会と映画における表象
講義3	フィリピンの文化と社会3 石井武（現代舞踊家）	フィリピンでのアーティストとしての活動・コンテンポラリーダンス
講義4	フィリピンの文化と社会4 平野真弓（フィリピン大学講師）	マニラのストリートとアート
海外研修1	フィールドワーク1 稲垣立男、ロード・ナ・デイト	国立文化施設1（マニラ） ・フィリピン国立美術館
海外研修2	フィールドワーク2 稲垣立男、ロード・ナ・デイト	国立文化施設2（マニラ） ・国立自然史博物館 ・国立人類学博物館
海外研修3	フィールドワーク3 稲垣立男、ロード・ナ・デイト	文化と地域1（マニラ） ・イントラムロス ・マニラ大聖堂
海外研修4	フィールドワーク4 稲垣立男、ロード・ナ・デイト	文化と地域2（マニラ） ・エスコルタ・ビノンド ・98B Collaboratory
海外研修5	インターベンション・アート1 稲垣立男、ロード・ナ・デイト	文化の活動1（マカティ） ・ブリータ・カラウ・レデスマ・センター ・マカティ・シネマ・スクエア
海外研修6	インターベンション・アート2 稲垣立男、ロード・ナ・デイト	文化の活動2（マカティ） ・国際交流基金 ・O-home
海外研修7	インターベンション・アート3 稲垣立男、ロード・ナ・デイト	大学とアート1（ケソン） ・フィリピン大学ディリマン校 ・フィリピン大学ヴァルガス美術館
海外研修8	インターベンション・アート4 稲垣立男、ロード・ナ・デイト	大学とアート2（ケソン） ・アテネオ大学 ・アテネオ・アート・ギャラリー
事後学習	成果の報告 稲垣立男	・作品・レポート課題について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Google site で配信する授業コンテンツには、学習を深めるためのウェブサイトのリンクが多く紹介されていますので、興味のあるものについては閲覧することをおすすめします。本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Google site を通じて授業に必要な資料を配布します。いくつか参考書を紹介するので、それらのうち少なくとも一冊を選んで購読することを勧めます。また各分野の研究に関して必要となる資料についてはその都度紹介します。

【参考書】

大野拓司「フィリピンを知るための64章」明石書店
鈴木勉「フィリピンのアートと国際文化交流」水曜社
鈴木勉「インディペンデント映画の逆襲—フィリピン映画と自画像の構築」風響社

【成績評価の方法と基準】

成績評価については、平常点（授業への取り組み）、課題とレポートの合計で行います。取り組みの実験性、積極性を重視します。採点比率は以下の通りです。

1. 平常点（50%）
2. 課題とレポート（50%）

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

2021年度、2022年度に緊急事態宣言下でオンラインで実施した海外フィールドスクールでは、海外渡航ができませんでしたが、受講した学生たちは積極的な態度で受講した結果、充実した異文化体験の場、新しい芸術文化に関する出会いの場となったようです。2024年度はコロナ禍での経験を踏まえて、オンラインでの事前学習とマニラ現地でのフィールドワークを組み合わせ、フィリピンの文化やアートに関する理解を深める取り組みとなりました。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のためにGoogle classroomを使いますが、履修に関する情報については学習支援システムを併用しますので、よく確認しておいてください。

【その他の重要事項】

実務経験のある教員による授業

稲垣立男はコンテンポラリーアーティスト。フィールドワークによる作品制作と美術教育に関する実践と研究を国内外で実施しており、これらの現場での経験を毎回の講義に反映させています。

関連するリンク

- ・国際交流基金マニラ支局：<https://jfmo.org.ph>
- ・まにら新聞：<https://www.manila-shimbun.com>
- ・ロード・ナ・デイト：<https://loadnaditoprojects.cargo.site>
- ・フィリピン文化センター：<https://culturalcenter.gov.ph/#home>
- ・フィリピン国立美術館：<https://www.nationalmuseum.gov.ph/our-museums/national-museum-of-fine-arts/>
- ・国立自然史博物館：<https://www.nationalmuseum.gov.ph/our-museums/national-museum-of-natural-history/>
- ・イントラムロス：<https://intramuros.gov.ph>
- ・98B Collaboratory：<https://www.98-b.org/https://www.instagram.com/98bcollaboratory/https://www.facebook.com/98Bcollaboratory>
- ・Purita Kalaw-Ledesma Center：<https://www.tatlerasia.com/lifestyle/arts/purita-kalaw-ledesma-the-woman-who-changed-the-history-of-philippine-art>
- ・Underground Gallery：<https://www.facebook.com/pages/Underground-Gallery/240008656865960>
- ・The O Home：<https://www.facebook.com/profile.php?id=61550191292254>
- ・フィリピン大学ディリマン校：<https://upd.edu.ph>
- ・UP Vargas Museum：https://vargasmuseum.wordpress.com/?fbclid=IwY2xjawEryYBleHRuA2F1bQlxMAABHebXaijwUleF9nkvRnQHvjWVg-zYITBvWdFmxl6ObNiJX3zcfw9a1P5YqQ_aem_13CpQqbtOptexCNbzHZrcA
- ・Parola UP Fine Arts Gallery：<https://cfa.upd.edu.ph/cfa-life/gallery/>
- ・アテネオ大学：<https://www.ateneo.edu/>
- ・Ateneo Art Gallery：<https://ateneoartgallery.com>
- <https://www.facebook.com/ateneoartgallery>
- <https://www.instagram.com/ateneoartgallery/?hl=en>

以下は、デザイン工学部都市環境デザイン工学科（Jabee）のみ該当します。

【修得できる能力】

- | | |
|--------------------|-----|
| (A) 歴史・文化・自然の理解・尊重 | 50% |
| (B) 技術者倫理 | |
| (C) 工学基礎学力 | |
| (D) 専門基礎学力 | |
| (E) 専門知識の活用・応用力 | |
| (F) 総合デザイン能力 | |
| (G) コミュニケーション能力 | 30% |
| (H) 継続的学習能力 | 20% |
| (I) 業務遂行能力 | |

【選抜について】

選抜については、書類審査及び面接を行います。

【参考・海外フィールドスクールについて（国際文化学部）】

※ 海外フィールドスクールは、2017年度～2024年度は国際文化学部・専門科目として実施されてきました。以下は2024年まで国際文化学部で実施されていた海外フィールドスクール（3コース）の授業概要と目的です。各コースでは、東南アジア各国に渡航し、現地でフィールドワークを行います。

海外フィールドスクール・プログラム（Field School Program ☒ 略称FS）とは、2年次に実施される長期・夏期スタディ・アブロード・プログラム（SA）とスタディ・ジャパン・プログラム（SJ）で培われた異文化間のコミュニケーション力のみならず、それまでの本学・本学部における基礎的・専門的な学びを十分に活用し、海外のフィールドでより専門性の高い知識、研究手法、表現方法を習得するものです。東・東南アジアをフィールドに開発と文化コース、表象文化コース、環境と文化コースの3つのコースで実施します。当該年度の開催コースは、国際文化学部 Web サイトにてご案内いたします。（3コースのうち、2コースが例年実施されます。）

【Outline (in English)】

Course outline

Overseas Field School has originally been conducted in East and Southeast Asia. However, during 2021 and 2022, it was held online under the state of emergency. In 2024, the program was offered as a combination of online (on-demand) lectures in Japan and fieldwork in Manila, Philippines. This year's course structure will be the same as 2024, combining online (on-demand) lectures conducted in Japan with fieldwork in Manila.

This course focuses on the culture and arts of the Philippines. Through interactions with people from different lifestyles and cultural backgrounds, participants will gain experiential learning on mutual cultural understanding and communication from diverse perspectives. This year's fieldwork theme, continuing from last year, is "Intervention Art." Participants will explore methods of creating art interventions while visiting various urban and cultural sites in Manila. The course centres on workshops that connect environmental and social issues in Southeast Asia and the Philippines with cultural activities such as visual arts, theatre, and film. We warmly invite anyone interested in Southeast Asian culture to join us.

Learning Objectives

Through lectures and workshops by researchers, journalists, NPO operators, art curators, and artists living in the Philippines and fieldwork in Tokyo on the theme of the Philippines, Filipino culture and people's lives, and art such as theatre and contemporary art, the goal is to deepen the understanding of expression and cultural policy.

Learning activities outside of the classroom

The content delivered on the Google site contains many website links to deepen your learning, so we recommend browsing the ones that interest you. There are also many museums and galleries near the university. Depending on the infection status of the new coronavirus, please watch exhibitions.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading Criteria /Policy

Grades will be evaluated based on class activities, assignments, and reports. We emphasize the experimentality and positiveness of our efforts. The scoring ratio is as follows.

1. Initiatives for classes (50%)
2. Issues and reports (50%)

See rubrics for specific assessment guidelines.

Based on this grade evaluation method, only those who have achieved 60% or more of this class's achievement target will be accepted.

